

社団法人松阪法人会 女性部会



山ざくら

(社)松阪法人会女性部会

山ざくら  
早春号 四号

(社)松阪法人会  
女性部会だより  
発行日 平成10年3月  
松阪市若葉町161-2  
(松阪商工会議所内)  
TEL.0598-52-1321  
FAX.0598-51-4130

## ごあいさつ



女性部会長 水谷 太美

一夜明け、日が昇り始めると大切なものが崩れ去っているのじゃないか？そんな不安にかられる今日此の頃でございます。

2月に入って景気低迷打開策の一つとして特別減税が施行されましたが、もっと将来をふまえた地についた減税であればと、手ばなしで喜んでみられません。

そしてお金よりもっともっと大切な青少年の心の育みの必要性！私達母親にとって、物、心、全て原点に帰って考え直すときが

来たようでございます。

今回の会報誌山ざくらは、皆様方の側面の心の和らぎをと広報部が趣味とたのしみを取り上げて企画いたしました。

ひと時の安らぎが得られればと念ずるしだいでございます。

そして今日も又お元気でお仕事に家庭にこの荒波に流されないよう頑張っていたかくことを期待しております。

平成10年2月

## 松阪法人会女性部会の歌

作詞 松阪法人会女性部会  
作曲 小 楽 崎 勉  
(1991. 2作)

1、歴史を誇る 松阪の

朝日に輝く 山桜

税の知識を 学びつつ

今日の幸せ かみしめて

企業につくす 法人会

ああ楽しき集い 女性部会

2、もみじ葉映える 高見山

流れは清き 香肌峡

納めし税を 見守りて

明日に夢を ふくらませ

地域につくす 法人会

ああ希望にみちた 女性部会

3、四季をいろどる 大台ヶ原

お茶の香りや 多気たきの郷

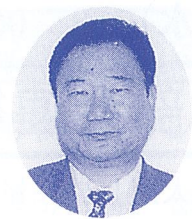
ともに結びし 納税タスキ

未来に道を 開かんと

社会につくす 法人会

ああ みなぎる力 女性部会

## 女性部会の皆様へ



松阪税務署長 榊原 鐵夫

社団法人松阪法人会女性部の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

皆様には、日ごろから税務行政に対しまして、深いご理解と格別のご協力をいただき、心からお礼申し上げます。

● 昨年7月に当署に着任して以来、松阪法人会女性部会の活発な活動ぶりや、会員の皆様の活気あふれる行動力につきましては、前任の大橋署長から聞き及んでおりましたが、昨年の12月4日の講演会にお招きいただき、皆様の熱心な状況に触れ、そのパワーを拝見するに至って再認識した次第であります。

● 来る21世紀は女性の時代とも言われており、昨今、女性の社会における活躍は目覚ましいものがあります。私どもの松阪税務署におきましても55人の職員の内、女性は9名配属されており、女性の構成割合は年々増加しつつあります。

改めて申し上げるまでもなく、皆様方は、

企業においては経営の最前線として、あるいはその中枢を担う役員として、重要な役割を担っている方々ばかりであり、さらに、法人会活動を通じて税の仕組みやその必要性を勉強されている税の正しい理解者でもあります。

● 日常生活に根差した視点で、きめ細かく解決していくことが求められるようになる社会において、女性特有の柔軟さと繊細な感性を備え、妻であり母親としてご活躍されている女性部会の皆様のご意見、お力添えは税務行政にとって貴重なものであります。

● どうか、社会において幅広い活動をしてみえる女性部会の皆様におかれましては、従来にも増して税務行政に深いご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

● 終りにあたりまして、社団法人松阪法人会女性部会のますますのご発展と、会員の皆様のご健勝とご繁栄を心から祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。

10月15日(水) 13:00~18:00

## 県連女性部会連絡協議会

紀伊長島町「孫太郎」於 報告 赤塚、田中



発表する赤塚登美子さん



輪になってなごやかに尾鷲節

秋晴れのルート42を一路紀伊長島へ  
地元の方々の歓迎を受け、細やかな配慮  
の中、第10回県連女性連絡協議会が開かれ、  
18名が参加。

分科会に分かれ暖かい日差し一杯の和室  
で輪になり、今回のテーマ“女性部会は今、  
そして今後”について活発な意見の交換が  
行われました。キャリアの長い方、新しい方、  
皆各々が心に感じていることを熱心に語り  
あい、瞬く間に時間が過ぎていきました。

税務署の方々との身近なコミュニケーション  
の大切さ、又、会員が輝いていることが

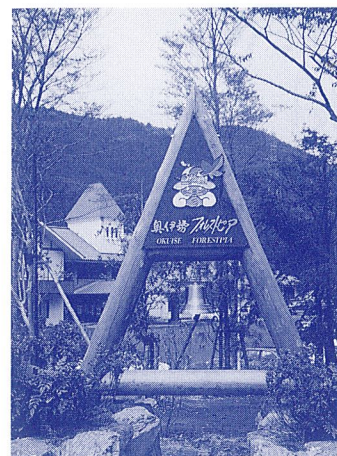
大勢の仲間を作る…等々。各分科会で交わ  
された意見がまとめて発表され、法人会女  
性部会が各地で意義ある活動をし、地域に  
貢献されていることを再認識いたしました。

夕日の沈む海のきらめき、篝火の中に響  
く“九鬼太鼓”素晴らしいロケーションの  
会場での心づくしの親睦会。八都市八部会  
の160余名の交流がなごやかに進められた素  
晴らしい大会でした。

赤塚

## 研修会

奥伊勢「フォレストピア」



9年5月16日 部会員47名 バスにて 宮川村一  
車中、松阪税務署、前田統括官様の「税務雑感」と題し  
ての有益なお話を聞かせて頂きました。フォレストピア研  
修室にて三好三重子先生の「心に力がみなぎる生き方」と  
題してのゼスチャーを交えての、有意義で楽しいお話を聞  
かせて頂きました。後は温泉に入り手足を伸ばしゆったり、  
のんびり、のほほん、のほほん。



## 総会と記念講演

6月4日 松阪税務署長大橋様 前田統括官様 北田会長様

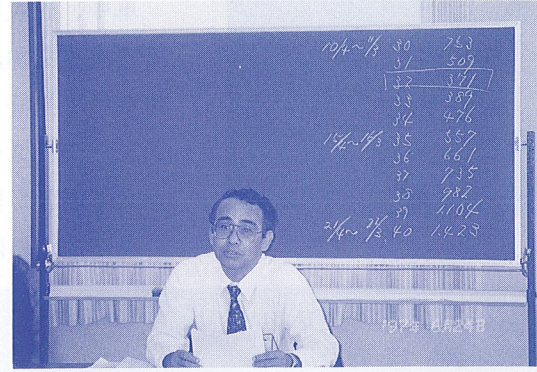
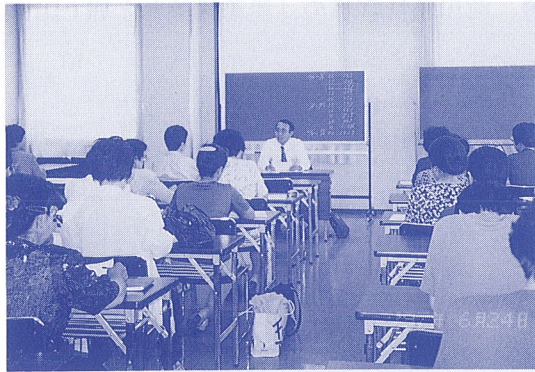


来賓をお迎えし、総会を盛大に行なうことが出来  
ました。総会では、トヨタ自動車(株)TQM推進部主  
査「中川一字」氏による「QCとは何か？」と題して  
講演をお聞きしました。



## 税務研修

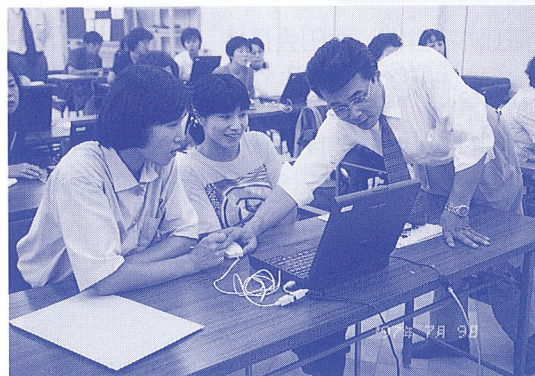
6月24日松阪税務署前田統括官様を講師にお迎えして「税のあれこれ」と題して研修会を行ないました。



## 「インターネット」体験

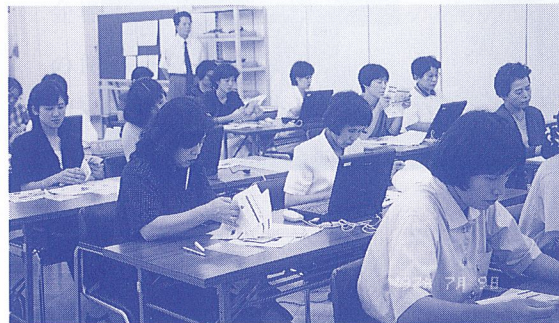
7月9日 松阪市大塚町「情報館太陽」に於いて20名が初心者向けの指導を受けました。

部会員と若い人も交えて挑戦し、アメリカと交信できたときは歓声をあげました。96ヶ国の情報が入る。実際に機器にさわってみて「ワイワイ、ガヤガヤ。消えた！飛んで行った！出ました！」にぎやかなことひとしきりでした。



皆様の感想 20人中 初めての人18人

- 「楽しく学びました」
- 「料理情報他いろいろあるので楽しかった」
- 「初めてで難しかったが病みつきになりそうです」
- 「聞くよりやって見る事ですね」



## 9月17日 松阪商人ものがたり

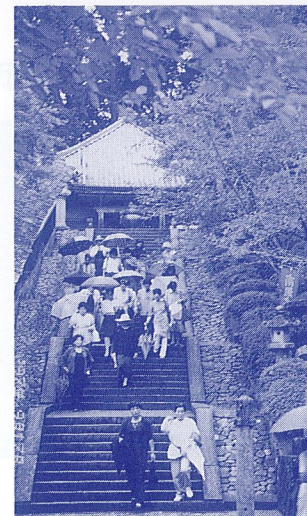
一日バス 「歴史探訪」 豪商の名残今も

「射和、中万の町を尋ねて」「丹生と射和の歴史について」

國分家、富山家、柳原観音、女人高野山神言寺丹生大師

講師 三好三重子先生

39名参加 近くに在りながら仲々行けない処へ案内して頂きました。



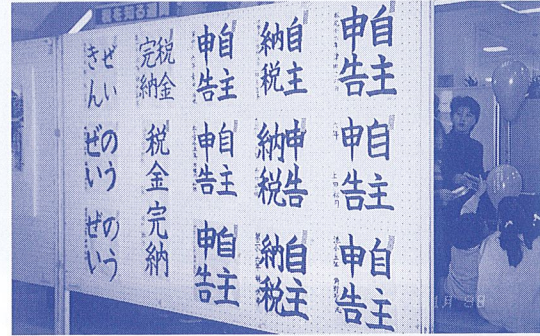
丹生大師



### 射和商人

呉服の店を江戸に出して成功した富山家、家城家、「亀甲大」印しょうゆの國分家、「ちくま味噌」の竹口家などたくさんの豪商が生まれ、今でも射和・中万の町並からその名残りをしのぶことができます。中でも竹川家の竹川竹斎は維新の時代に生き、勝海舟らとも交流して幅広く活動した人です。農民の救済のため溜池を造つたり、人材育成のための「射和文庫」「射陽書院」を設立したり、自分でもたくさんの本を書いたり、夢と郷土愛にあふれた多くの事業を行いました。

11月8日「税を知る週間」 於マーム、セントラルコート



子供達にも知ってもらおうと、クイズあり空クジなしの景品渡しで部員一同大忙しでした。

### 税金クイズ。答えてみて下さい。

#### 税金クイズ

第1問 普通自動車を所有しているときにかかる自動車税は、どこに納める税金でしょうか。

- ① 国
- ② 県
- ③ 市町村

第2問 公立学校の児童、生徒1人当たりの年間教育費負担額は、いくらでしょうか。

- ① 約 7,240円
- ② 約 72,400円
- ③ 約 724,000円

第3問 平成元年4月1日から消費税が3%の税率で導入され、平成9年4月1日から税率が5%に引き上げられました。次のうち正しいのはどれでしょうか。

- ① 消費税率が5%になったが、すべて国税
- ② 消費税率が5%になったが、うち1%分は地方消費税
- ③ 消費税率が5%になったが、国税から地方税に変わった

解答欄

第1問	第2問	第3問

※各問題とも解答をご記入のうえ、必ずセントラルコートまでお持ちください。全問正解の方には、抽選で景品を差し上げます。

#### 税金クイズ

第1問 贈与税（個人から財産をもらったときにかかる税金）は、どこに納める税金でしょうか。

- ① 国
- ② 県
- ③ 市町村

第2問 市町村のゴミ処理費用、国・地方公共団体の負担額を国民1人当たりとする年間ではいくらかになるでしょうか。

- ① 約 198円
- ② 約 1,980円
- ③ 約 19,800円

第3問 来年は長野オリンピックが開催されます。オリンピックでメダルを獲得した選手には報奨金が国から支給されますが、この報奨金にはどのような税金がかかるでしょうか。

- ① 贈与税がかかる
- ② 税金はかからない
- ③ 所得税がかかる

解答欄

第1問	第2問	第3問

※各問題とも解答をご記入のうえ、必ずセントラルコートまでお持ちください。全問正解の方には、抽選で景品を差し上げます。



11月11日 於津、プラザ洞津



ゲスト 小林千登勢さん  
「家族のコミュニケーション」



名古屋国税局長 森田好則氏  
「わが国の税制をめぐる諸問題」

12月7日 平成9年年末研修会

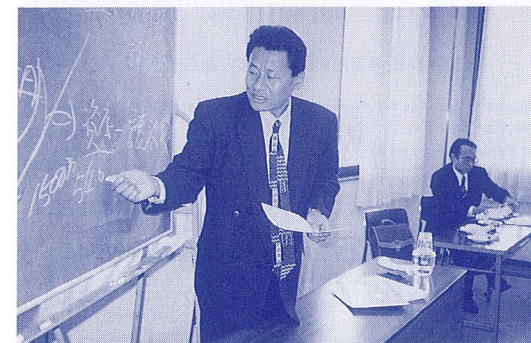
於 華王殿



榊原署長様のお話

着任挨拶といろいろな角度からの税制について話して頂きました。

平成10年新春研修会



多田総務課長様の「相続贈与あれこれ」と題してお話を聞きました。

平成9年1月19日



# 税務署だより

## 予期せぬ税金……みなし譲渡

ある納税者から

「私は、借地に家を建て15年間住んでおりましたが、この度、建売住宅を購入し移転することとなりました。契約では、家を取り壊して、更地にて地主に返還する旨記載されておりますが、取壊し費用が高額なことから、地主である住職の許可を得て現状のまま贈与することとしました。この場合なにか問題がありますか?」との質問を受けました。

みなし譲渡課税……個人が宗教法人に財産を贈与した場合、その贈与した財産が現金、預金等であれば、問題はありませんが、土地、建物など譲渡所得の基因となる資産である場合にはその贈与した人はその資産を時価で譲渡したもののみなされ、その譲渡所得に対して所得税が課税されることとなります。

(所得税法59条①)

### タックスアンサー

(税金電話相談)

国税局のタックスアンサーシステムをご存じですか。  
059-229-2299番に電話をすると、年中、早朝6時から深夜24時まで、600余りの相談項目に対し、コンピューターが回答します。  
相談項目コード表は、税務署やしちよえさんの窓口にあります。  
052-961-7799番は、ファックスでも回答します。  
くわしくは、松阪税務署 (0598-21-1341) へお問い合わせください。

7頁の答え  
左. ②③② 右. ①③②

家を取り壊して、更地にして返還すれば課税上なにも問題はありませんが、質問の場合は宗教法人に借地権・建物を贈与したこととなり、まさにこの「みなし譲渡」に該当します。譲渡の評価額は、贈与したときの時価となり、借地権価格が含まれますから相当な金額となります。

なお、当該質問は、居住用の資産の譲渡ですから、申告により3,000万円までは課税されません。

○ 個人が法人に対して譲渡所得の基因となる資産を贈与した場合には、原則としてそのときの時価でその資産を譲渡したものとして譲渡所得等の金額を計算して所得税が課されることとなっています。しかし、宗教法人に対する財産の贈与又は遺贈(その法人を設立するためにする財産の提供を含みます。)で国税庁長官の承認を受けたものについては、譲渡所得等の計算上、その財産の贈与又は遺贈がなかったものとみなされ課税されません。(措置法40条①)

### 生命保険の保険金を受け取ったときは

その保険金が死亡に基づくものか、満期によるものか、また、保険料の支払者は誰なのかなどによって課税関係が異なります。  
夫婦の関係をとってみると次のようになります。

区分	負担者	被保険者	受取人	保険事故等	課税関係
①	夫	妻	妻	満期	夫の一時所得
②	夫	妻	妻	満期	妻に贈与税
				夫の死亡	妻に相続税
③	妻	妻	妻	満期	夫の一時所得
				妻の死亡	

●年金方式で保険金を受け取った場合は、その年ごとの雑所得として所得税がかかります。

# 王朝ロマンの町「めいわ」

北岡 崇子

師器「土馬」等の祭祀遺物も出土し、全国でも最大級の国史跡とわかりました。

この地方には昔、竹連吉比古と云う豪族が住み、大和の香具山から「呉竹」を、この地に移し植えて、「竹の都」又は「多気之都」と呼ばれていたそうです。「万葉集」「古今和歌集」その他多数の文学史に、斎王が登場して居ます。三十六歌仙の一人の「敦忠集」には、斎王稚子内親王との悲恋の詩が読まれ、「さん載和歌集」には女宮が都との別れの詩を詠んでいます。「伊勢物語」の在原の業平と斎王恬子内親王の物語は有名ですし、「紫式部」の「源氏物語」の中の「六條御息所」は同世代の斎王微子女王がモデルだそうです。醍醐天皇の皇孫で、三十六歌仙の一人でもあり、娘の規子内親王と共に、親子二代にわたり斎王として群行して来られました。このほか初代斎王の大伯皇女や八代斎王の井上内親王等有名だと思います。「県立斎宮歴史博物館」は、毎月第三日曜日が無料開放されます。内にある二種類の映像も、素晴らしいのでぜひ一度御覧下さいませ。

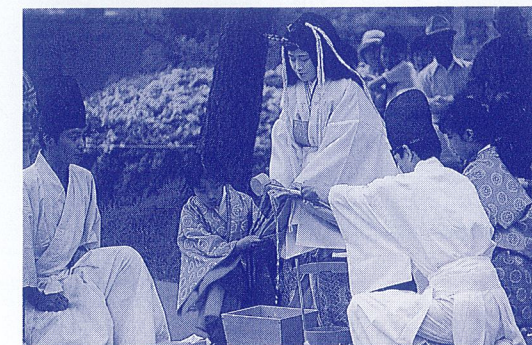


田園風景が広がる静かな村々が私の住む明和町でしたが、今では歴史的文化遺産の町で知られています。「斎宮歴史文化博物館」が出来て、平成十年が十周年だそうです。年々行事も盛んになり、毎年六月始めの土曜日と日曜日に「斎王まつり」

が行なわれて居ます。

例えば、遠い昔の飛鳥時代より南北朝時代までの六百六十年間七十余人の未婚の皇女が「伊勢斎王」として数百人もの人々と共に住まわれていたところなのです。まだ発掘が十四%なので、全貌はわかりませんが、東西二十二キロ米、南北七百米のうちに十二米巾の道路により地割りされた区画があり、東西に七区画、南北に四区画、その内に宮殿や役所が建っていたと考えられています。斎殿が、今の「竹神社」のあたりに有ったらしいです。又「御館」「宮前」「楽殿」「上園」「下園」「柳原」「馬渡」「花園」「鍛冶山」などの小文字が、宮域内に残っています。

昭和四十六年に「蹄脚硯」が発見されて以後六千点に及ぶ遺物の「緑釉陶器」や「灰釉陶器」又「円面硯」「唐三彩」「須恵器」「土



## 趣味は人生の花

水谷太美

芸は身を助ける種のふしあわせかな。と私達の年代には好きな芸事も不幸になるからと習わせてもらえず、又当時は蜂蜜販売の方がとても忙しくて趣味どころではない年令でもあり、毎日大阪、名古屋、東京と仕事に明け暮れておりました。三十二歳の時妊娠して仕事を中止していた時期がありましたが取引先の友達が“水谷さんでも子供ができるのか？”と驚きの声を上げて不思議そうに私の顔を眺められるのです。

そして昭和三十七年一月に長男より十才年下の長女が誕生しました。仕事になると夢中になる自分の性格は分かっていたが、そんなにも男性化している自分にふと淋しさを感じ、これではいけない！矢張り私はあくまでもやさしい女性であり続けながら、家庭とビジネスを両立させるのが私のベストの生きざまであると考え、動作の美しくなる日本舞踊を娘が三才になると同時に一緒にお稽古を始めました。その後昭和四十三年に次男が生まれ二男一女の三

人の母として仕事半分、子育て半分と厳しいですが生甲斐のある中年期を過ごしました。お稽古は夜八時頃から着物を着替えて心身ともに変身するのまたのしみのひとつでした。今やっと仕事は息子達に責任転嫁して大きく一息入れたとき、日本舞踊が私の老後の人生に大きな存在となってきておりました。今となつてはお金に換算出来ない私の文化資産です（税金をかけたらいくら位になるだろうか？）

趣味と芸事は少しニュアンスが違いますが、どちらも牛の涎のように時間をかけて少しずつ積み重ねてゆくもので、暇が出来てからというのでは遅すぎます。そして一日でも早く永くつづける事がやがて力となって必ずその人の人生に花を添えてくれることと思います。好みは人それぞれ違いますが、老いた姿にもふくよかな香りのあるそそした花を咲かせたいものと、希望をもって仕事の合間に今日も練習に励んでおります。

「叱られて」

フルート演奏  
踊り

大戸麻有里  
水谷太美



## 趣味いろいろ—押し花—

中央町

服部 きみ



船江町

長嶋登美子



## 王將もどき

野 島 富士子

愛犬二匹を相ついで不慮の事故でなくし、残された“お捨”という雌の老犬だけになったのを寂しかろうと心やさしき息子が昨年のお正月に二匹の芝犬を贈ってくれました。一匹は茶色の生後四十日の雄、一匹はやや姉さんの黒芝の雌。二匹とも私の戸籍謄本より立派な血統書を持参。何やら高貴な名前がついていましたが、今後一緒に暮らすことになる捨て犬だった“お捨”の立場も考え、この二匹に“王將”の歌のようなよき夫婦にあやかりたいと“三吉”“小春”と改名しました。その後この二匹はヌクヌクと育ち、三吉は野性味溢れる恰幅のあるいい男に、小春は色黒ながらスリムでつねに三吉を思いやるやさしい乙女にせいちょうし庭で楽しげに遊ぶ姿を見ては、この二匹の間に生まれるであろう子犬のもらい先や名前まで早々と考えその日を待ち構えていました。

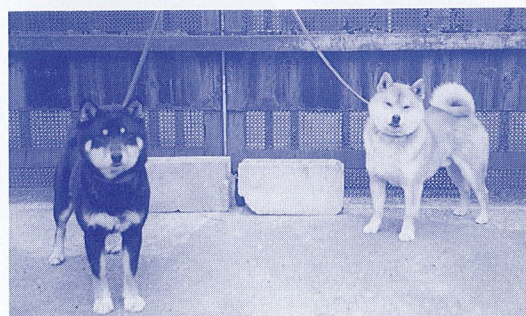
しかし恋の季節は幾度か訪れるのですが、この二匹は一向に夫婦の契りを結ぼうとはせず、何時までも清いお付き合いのまま今に至っているのです。そこへややこしい事に、とうに還暦を過ぎたであろうはずの“お捨”が精悍な三吉に思いを寄せ、三吉も又“お捨”に母性を感じるのか、はたまた熟女が好きなのか満更でもない様子に小春の乙女心はいたく傷つき事態は悪化しお捨に対する怒りはもの凄く、やさしい小春もお捨を見ると歯をむき、うなり声をあげてお

そいかり、お捨も負けじとかみつき合いの死闘が繰り返され血の雨降らす事もしばしば、三吉と私は恐れおのきおろおろするばかり。その都度獣医さんの来診を仰ぐ始末。

「何…又やりましたか。小春が勝って当たり前。何しろ若さは強いですからネ。あれ?! お捨が今度は勝ち?? 年老いても彼女頑張りますね」とおおいに楽しんでもらいペニシリンや栄養注射を打ってもらい、私はペット健康保険のないのをうらみつつなけなしの財布の底をはたきます。犬の世界でも女の情念はすごいなと、つくづく感じ入っている今日この頃です。



おすて 小春におでこをかまれてこんな姿に。

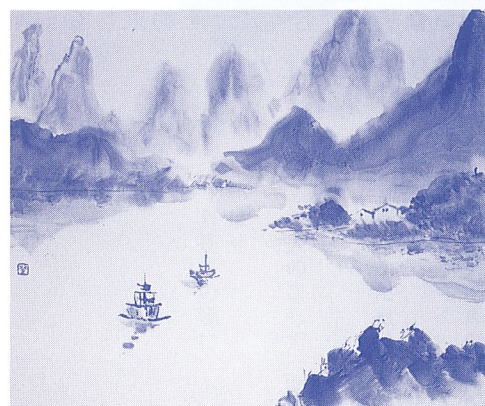


おすてをゆるさない小春

もてもての三吉

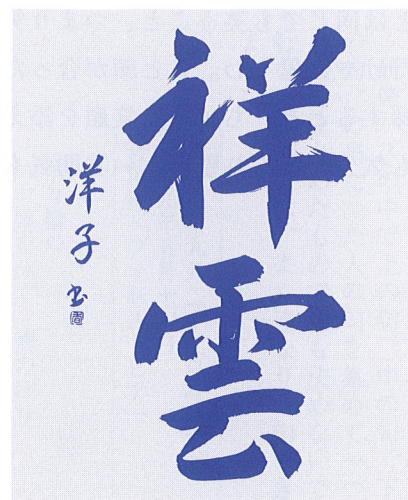
散り敷て落ち葉畳となすところ  
 白壁に熟柿の映える大和路を  
 人呑みし曾爾高原の芒かな  
 穂田は曾爾高原の裾野まで  
 城高し银杏黄葉はなお高し  
 鈴の屋の二階の障子開けてあり

外五曲町 大西さよ



水墨画(桂林にて)

中町 赤塚登美子



洋子 画

書

豊原町 田中洋子



## ミニ同窓会

### 多気町 綾野のぶ子

一月も半ば昨年同様“ミニ同窓会”がありました。小学校の頃の、それも女性ばかり十人程の気の合ったものどうしの集まりです。

一週間前に電話すると必ずみんな集まってきました。年に二度お正月すぎとお盆すぎのおしゃべり会をいつの間にか“ミニ同窓会”と名が付いてしまいました。

顔が揃うとそれぞれ家のこと、主人のこと、息子や娘のこと、孫のことから化粧品や髪形、服や着物のこと、果ては腰痛やら神経痛なんて…年と共に話しの内容もずいぶん変わってきたねと大笑いしながら。

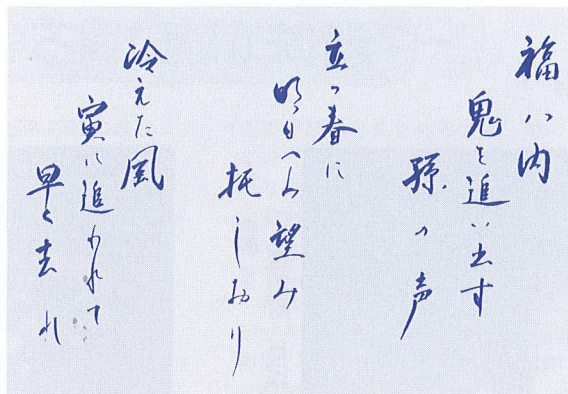
一通りはしゃいでしゃべりつかれた頃に、大阪からいつも来てくれるコッちゃん（三年前にご主人が亡くなり小さな町工場を経営している人）が「あんたら人間と動物の違いはなんやと思う？」と切り出しました。皆が「さあ何やろ。あっそれは心とちがう？」と言うとコッちゃんは「うん確かに心もやけどうちは笑顔やと思うわ。」人間も動物も怒ることは同じでも笑うこと、つまり笑顔は人間だけやと思うわ。人と顔が合ったとき、挨拶するとき、ちょっと笑顔を添えると相手も気分がほぐれ堅苦しい雰囲気も

消えるし自分自身もうれしい気持ちになれるわ。もちろん、人としての礼儀は当然守らなければいけないけど、困ったときや難しい問題が起きたときこそ顔にも心の中にも笑顔をもちたいな。そしておかしい時や楽しいときは思いっきり笑ったら楽しさも倍になるしサ」と、目をほそめてにこにこしながらコッちゃんが話します。

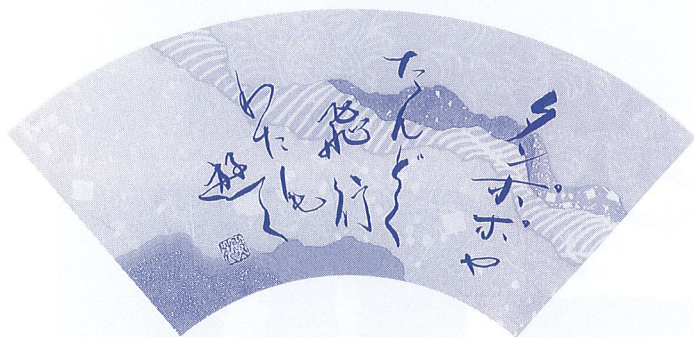
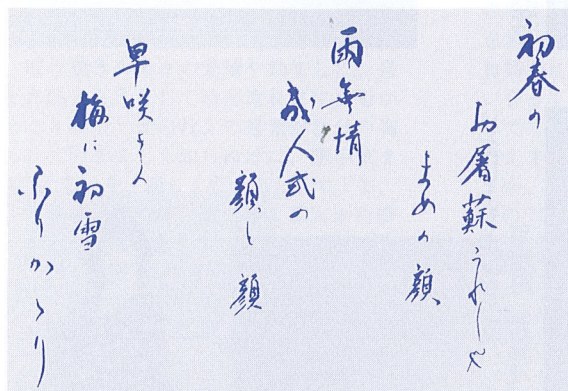
「それにもう一つや。これは大事なことで」と前置きしながら「主人でも、だれにでも、呼ばれたら何か頼まれたらすぐ「ハイ」と返事すること。とに角「ハイ」と云うの「でも…」「そやけど私は…」「まあ、ちょっと待って…」等と云わないこと。「ハイ」と一度返事してから「でも…」とか「そやけど私は…」とか自分の意見や断りを云うの。それが円満平和に行く秘訣よ」まあ、明日からやってみてよ」と。

珍しいコッちゃんの話しにみんなが「なんや今夜はコッちゃんの独演会みたいやっただけど楽しかったな」と。今度はお盆過ぎに又元気な笑顔で合うことを約束してミニ同窓会の幕を閉じました。

中町  
松田シウ



稲木町  
小山照美



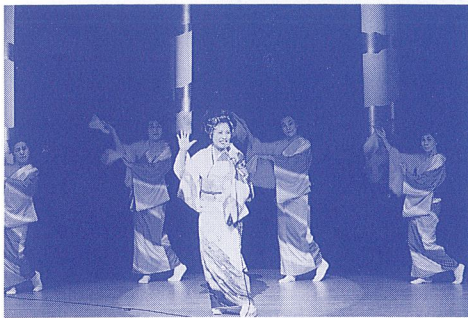
### 部員合作俳句

研修バスの中で上の句。中の句。下の句。の当たった人の句を集めて一つの句にまとめたもので題も決めないで行なった割には、よく連なり一句できました。

平成八年九月二十七日叶匠寿庵  
平成九年五月十六日  
宮川村「フォレストピア」

吊り橋の 緑を泳ぐ 鯉のぼり  
マス釣りに いい汗かいて 多気の郷  
ほうしせみ 税金クイズや バスの中  
奥伊勢の 夏みかん風呂に 肌をそめ  
秋晴れや 主人のこして 匠寿庵  
想いはせ 寿長生の郷に われもこう

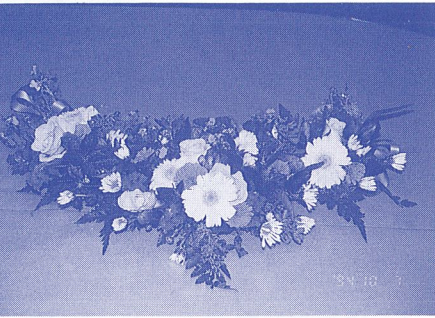
## 趣味いろいろ



「演歌」  
鎌田町 長森英佐子



リクレーションダンス  
平生町 石井ヘア



フラワーアレンジメント  
上川町 村林美保



「私は誰でしょう。」



正解の方に抽選で二名様にテレフォンカードを進呈。

## “今”時の花をかざす

三好三重子

人生八十年の時代と申しまして、悠久の時の流れの中では、ほんの一瞬の間と言えましょう。また、ひとりひとりの生きざまは、大変な思いの中で懸命に生きていて尊いものでありますのに、大宇宙からみれば、時の流れの中を往き交う旅人とも見えましょう。出逢いの喜び別れの悲しさ、怒りや嘆きの連続……そして、何時の間にか、姿がみえなくなる……それが、人、人、人であり私も、その人の一人と想います時、しみじみと“今”を想うのです。

人生の始まりには、その人に、数々の願いや夢が託されて育ちます。願いの重さに自分の心が打ち拉がれたり夢の大きさに自分の居場所を見失ったりし乍らも、父や母、また、取り巻きの人々の愛情や励ましに、自分自身も、何とか応えようとして時が流れます。母から言われた褒めことばや、父の教える言葉が自分の胸の内を支えてくれていることも知らぬげに、勝手気ままに生きた青春時代を、今、懐しく思い出します。と、申しまして、それは、戦時中の事とて、柔らかな夢

の時代ではありません。花も実もない闇の世界を往き交う『さまよい人』の姿です。しかし、さ迷い歩く中にも、失うものばかりではなかったように思われるのです。

物の無い頃、母は台所に立って「ああ粉が、まだこんなにある……ある」と言うのです。缶をのぞいて「もうこれで、おしまいや」と言う私に向かって、「少しの物でも、今、まだあると見れば嬉しくなる。まだ、と、もう、との違いが判れば一生のうちでは、大きな宝をもらう事になるがなあ」と言った事がありました。

先般、新聞記事の中にこれと似た事が記載されていて驚いたことでした。砂漠を旅する二人が、水筒の僅かの水をみて、Aさんは、(まだ水がある)と思い、Bさんは、(もう水はこれだけだ)と思ったと言います。さて砂漠の旅を全うしたのは、Aさんであったとの記事を見て、五十年も昔の母の言葉を、改めて思い起こしました。これは、闇の世界を往き交う中で母から貰った宝かも知れないと想うのです。様々な条件の重なり合う“今”では、ものの見方、考え方も多様化していて、何時もいつも当てはまるとは言えないかも知れませんが、困った時苦しい時を乗り越えて生きる心の一助になると思つて私は、今を生きております。

さて、『さまよい人』の時代に失ったものに「夢」があります。これは大きな損失です。

人生の中頃に抱いた夢は数々ありました。そして、その夢のひとつとして叶えられそうにもない時の流れに、慌てたり、諦めそうになったりした事がありました。ところが、今、私は、時の流れに不思議な力を感じています。悲しみや、憎しみ、痛みなど、さらりと流してくれるのも時の流れなら、失ったものを、我が手も

とに呼び返してくれるのも、時の流れである様に思えるのです。一刻、一刻のきざみの中に、失ったものを取り戻すことが出来る喜びと、自分の“気”を感じています。この力は、何処から来るのでしょうか。それは、絶える事無く往き交う世の旅人(人)との出逢いにあると思うのです。

私は、一年ばかり前に、素晴らしい先輩に出逢う事ができました。今まで、一度も逢っていないのに、何故こんなにも心を打たれるのでしょうか。百年も前からの知人であったような温かさと、懐かしさを覚えるのです。それは、その方の持たれる人柄によるものと思われませんが、今日までの数々のご苦勞から、積み重ね築かれた人柄に他ならないと思われまふ。ただ向かい合って座っているだけなのに、私の胸が満たされるのです。それは、自然体の中からにじみ出る温かさと言えましょう。どうすれば、こんなに成れるのでしょうか。考えて出来る事ではないのに、つい考えてしまうのです。



先輩と言つても、私よりほんの少しだけの年上であるだけなのに……と思えば思うほど自分が恥づかしく成ります。

『人は、夢をつかんだ時よりも、夢を追っている時の方が、美しい。』と言う詩を読んだことがあります。

先輩は、何時も夢を追っている様な人でもあり、それでいて、常に自分を戒めて生きている人でもある様に思われます。相手を傷つけまいとする心遣いや、多くの事を知りながら、それを振りかざさない気遣い等、細やかな心遣いに私は幾度も慰められ、教えられてきました。その度に、私も、こんな素晴らしい人に見習いたいと思うだけで、とても出来ません。ただ嬉しい事は、こんな素晴らしい人に出逢う事が出来た“今”を喜ぶことであり、この喜びが私の心の花にもつながるのです。

時の流れの中に生きて、やがて、もっと遠い処へ行くであろう事は、誰も同じ道なのです。今、この時をどんなに大切に生き、どんな花を見つけて喜びとするかは、人それぞれに違うでしょう。自分の姿が見えなくなつても、多くの人の胸の中に、生き続けることの出来る様な花を自分の中に育てたいものです。生きていく喜びや夢は、自分の育てる心の花の中にあるように思えてなりません。私はそんな想いで“今”を生きています。

お仕事をお持ちのみな様は、大勢の方から羨まれて生きてられる様に見えて、実はそれ以上のご苦勞がおりと存じます。その中で咲かせた心の花こそ、高くかざす事が出来るのだと信じます。

# 散策

## 女人開放 霊場伊勢山上



法人課税第一部門総括官  
前田 茂也

松阪インターから車で約20分のところに伊勢山上飯福田寺がある。訪れたのは底冷えのする日であった。

石段の手前に茶店があり、ぜんざい450円の貼紙、火の気の全くない店内には、缶ビールを手にした初老の男性客が、上品なおかみと世間話に興じていた。当方、とりあえずぜんざいを注文する。

行場について質問すると、「全行程約二時間だがあいにく今日は残雪のため足元がすべり危険である。しかし、せっかくだから「岩屋本堂」ま

では5・6分で登るので是非行ってみては」とのこと。

行者上り口には「けが等は、一切当寺は責任を持たない」旨の但し書



岩屋本堂

きがある。登り進むと「愛染明王」「愛宕大権現」「女人堂」等、祠が祭られている。

道中、霊気をひしひしと感じ、おもわず身が引き締まる。

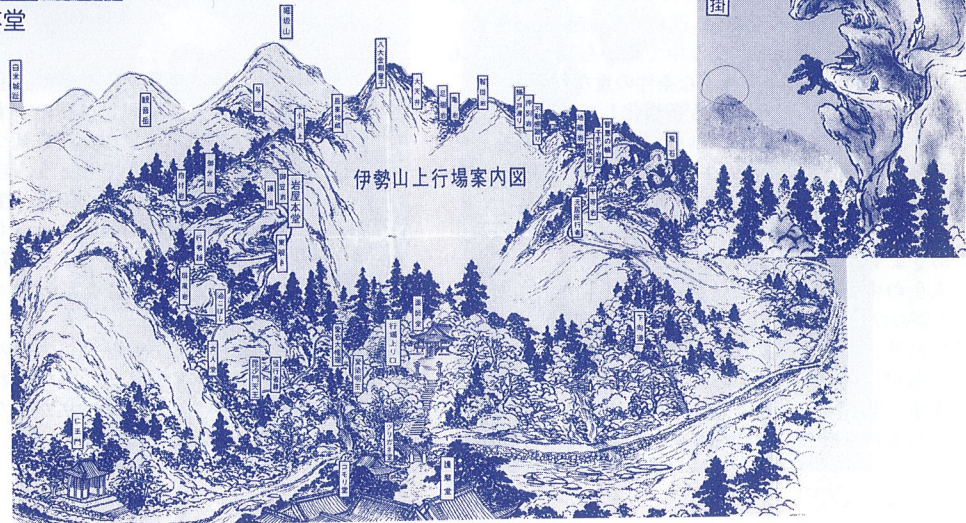
鎖が打ち込まれた「油こぼし」はその名のとおり、油を撒かれたらいかなる行者とて登ることができないと思われる岩場である。

そこから右手に折れて「岩屋本堂」までは手摺が設置されてるとはいえ、気を許すと足を踏み外しそうな崖壁である。

目的地「岩屋本堂」は、十畳程の岩場で社殿が祭られ視界が開けてはいるが、足元を見ると今にも谷底へ吸い込まれそうな恐怖を感じる。

早々に退散し、帰りの車窓から「岩屋本堂」を見上げると足が竦んだのも、うなずける迫力であった。

山開きの頃には、全行程を走破してみたものである。



## 【発行年表】

創刊号	平成6年5月
第2号	平成7年6月
10周年記念号(3号)	平成8年10月
早春号(4号)	平成10年3月



編集会議

## 編集後記

輝かしい年をもってお迎えのことと存じます。

今回は楽しい会報にとり組み、税務署様始め事務局様、各分会様に多大な御協力を賜りました。又会員様より澤山の原稿、お写真お寄せ頂きありがとうございました。不備な点も多くございますが、法人の輪を広げながら楽しい会報にと次号に向かって広報部一同頑張ってます。今後とも暖かいご支援とご協力の程お願い申し上げます。

副会長(広報担当) 長谷 友紀

「広報担当」 岡田美代子 赤塚登美子 林 和子 松田 シウ 森田 英子  
小山 照美 田中 洋子 山崎 澄子 綾野のぶ子 村林 美保